

遠藤周作文学館

遠藤周作文学館が立地する外海地区は、キリシタンの里として知られていて、遠藤文学の原点と目される小説『沈黙』の舞台となった場所でもあります。

日本を代表する文学者 遠藤周作とその文学の世界を堪能でき、角力灘を見下ろす絶好のロケーションを楽しめます。



今も読み継がれる「遠藤周作の世界」に浸る

文学を堪能しよう



【場所】東出津町77(長崎駅から車で約40分)

【入館料】大人360円/小・中学生、高校生200円



遠藤周作没後 25 年記念展

遠藤周作 母をめぐる旅 ——『沈黙』から『侍』へ

長崎で1枚の踏み絵と出会い、母性的なキリスト教を生涯のテーマとした遠藤が、「沈黙」や「侍」をはじめとする作品で、母をめぐる問題をどのように文学へ昇華させたのか、日記や書簡、自筆原稿の推敲跡などを手掛かりに明らかにします。

■期間 9月29日(水)～令和5年3月24日(金)

■場所 遠藤周作文学館 第Ⅱ展示室

夕べのレコード鑑賞会

雄大な角力灘の景色を眺めながら、遠藤周作の肉声や懐かしい音楽をお楽しみください。

■日時 10月2日(土)午後5時～6時

■場所 遠藤周作文学館 思索空間アンシャンテ

■定員 40人 ■費用 無料

■申込 9月30日(木)までに同館(☎0959-37-6011)へ電話で。

■その他 曲のリクエストも受け付けます。



映画『深い河』上映会

遠藤周作の小説「深い河」が原作の映画を上映します。

■日時 10月17日(日)午後2時～4時15分

■場所 チトセピアホール

■定員 300人 ■費用 無料

■申込 10月4日(月)までにあじさいコール(☎822-8888)へ電話で。



©日活

●問い合わせ●
遠藤周作文学館
☎ 0959-37-6011